



和歌山県新宮市との歴史・文化・産業交流都市協定の締結について

- 気仙沼市と和歌山県新宮市は、古代の熊野神勸請、江戸時代のカツオ溜釣り漁法の伝授など史実が端緒となり、唐桑地域の郷土芸能保存会を中心に平成 17 年から交流が活発に行われてきました。この間、東日本大震災、紀伊半島大水害の際の相互支援、さらには唐桑地域の郷土芸能劇の新宮市公演など、交流を深めてきました。
- 今年は、熊野神勸請から 1300 年の節目にあたり室根神社特別大祭が開催されることから、これまでの経緯を踏まえ、交流を市内全域に広げ、なお一層の相互交流を深めることの共通認識に至り、下記のとおり協定を締結します。

●日 時 平成 30 年 10 月 27 日(土) 午後 4 時～午後 4 時 30 分

●場 所 気仙沼プラザホテル ベイクリスタル
(気仙沼市柏崎 1-1 TEL0226-23-1313)

●主 催 気仙沼市, 新宮市

●締結式

(1) 締結内容 歴史・文化・産業交流都市協定

(2) 締結者 気仙沼市長, 新宮市長

(3) 立会者 気仙沼市議会議長, 新宮市議会議長

(4) 参列者

○気仙沼市 12 人

(市議会議員, 唐桑大漁唄込復活推進実行委員会, 行政関係者など)

○新宮市 12 人

(訪問団代表者, 行政関係者など)

新宮市・気仙沼市

歴史・文化・産業交流都市協定書

和歌山県新宮市と宮城県気仙沼市(以下「両市」という。)は、ともに太平洋の豊かな資源に恵まれたまちであり、海が取り持つ縁で、古くは養老2年(西暦718年)の熊野神勸請と延宝3年(西暦1675年)の鱧溜め釣漁法の伝授など長い交流の歴史の中で産業や文化を育んできた。

本年の熊野神勸請1300年室根神社特別大祭を機に、両市の交流をこれまで以上に推進することにより、文化の振興と産業の発展に寄与することを目的に、以下のとおり協定を締結する。

(連携・協力事項)

第1条 両市は、本協定の目的を達成するため、次に掲げる事項について相互に連携・協力するものとする。

- (1) 歴史、文化を通じた交流の促進に関する事。
- (2) 産業の促進に関する事。
- (3) まちづくりについて、官民連携した交流の促進に関する事。

2 両市は、前項の連携・協力に当たっては、事前に十分な協議を行い、双方合意の上進めるものとする。

(協議)

第2条 本協定に定めのない事項又は本協定に関し疑義が生じた事項は、両市が協議して定めるものとする。

この協定の証として、本協定書2通を作成し、両者が署名のうえ、各1通を保有する。

平成30年10月27日

新宮市長

気仙沼市長